

# 成田市学校教育フォーラム

～世界を舞台に飛躍し日本を支える人材へ～

子どもたちの未来、  
これからの成田市の教育  
について考えよう！



## 【プログラム】

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日曜日）

【開場】午後 1 時 30 分 【開催】午後 2 時～ 4 時

1. 開会
2. 開会のあいさつ
3. 基調講演 明石 要一 先生  
テーマ「千里を照らして一隅を守る教育」
4. 「成田市学校教育振興基本計画（素案）」の紹介
5. 休憩
6. パネルディスカッション  
基本テーマ：  
「成田市の子どもたちの未来のために、  
これからの学校教育のあり方を考える」
7. 閉会のあいさつ（総括）
8. 閉会・アンケートへのご協力をお願い

主催：成田市教育委員会

## 【基調講演 登壇者ご紹介】

### 明石 要一（あかし よういち）先生 プロフィール

昭和23年（1948年）1月17日大分県姫島村に生まれる。現在、千葉敬愛短期大学学長・千葉大学名誉教授を務める。

専門は、教育社会学（青少年教育）であり、担当授業は「学校の社会学」、「子ども文化論」、「教育社会学演習」など。

子どもをたくましく育てたいと、青少年文化の研究に精力的に取り組み、固定化・画一化された従来の教育学を越えて、ユニークな講義や研究を行い注目されています。長嶋茂雄のファンで、長嶋を研究対象とした長嶋学を創設しました。



## 【来歴】

奈良教育大学卒業後、東京教育大学大学院修士課程修了、同博士課程単位取得満期退学。千葉大学助教授などを経て、千葉大学教育学部、大学院教育学研究科教授として勤務。2001年に千葉大学学長特別補佐、2003年に「文部科学省中央教育審議会スポーツ青少年分科会臨時委員」、「文部科学省生涯教育分科会臨時委員」、2005年に「千葉大学教育学部学部長」、2010年に「ゆめ半島千葉国体大会式典委員会委員長」、「大会広報委員長」などを歴任。

## 【主な経歴】

- ・文部科学省中央教育審議会委員（現在）
- ・文部科学省中央教育審議会スポーツ・青少年分科会委員（現在）
- ・文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会会長（現在）
- ・文部科学省中央教育審議会教育制度分科会委員（現在）
- ・埼玉県青少年問題審議会委員長（現在）
- ・千葉県青少年問題審議会副議長（現在）
- ・文部科学省子どもの居場所づくり推進協議会座長
- ・2010年ゆめ半島千葉国体・大会式典委員会委員長、並びに大会広報委員長
- ・千葉県社会教育委員会議長
- ・千葉県NIE推進協議会会長
- ・千葉市教育委員 等

## 【主な著書】

- 『ガリ勉じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか』（講談社 2013年）
- 『統率力で規範意識を育てる』（編著/明治図書出版 2011年）
- 『統率力で危機管理をする原則』（編著/明治図書出版 2011年）
- 『子どもの規範意識を育てる』（明治図書、2009年）
- 『独立法人大学改革—学部長“守旧派”と闘う』（明治図書、2007年）
- 『キャリア教育はなぜ必要か』（明治図書、2006年）
- 『子どもの放課後改革はなぜ必要か』（明治図書、2005年）
- 『データが語る平成の子ども気質』（明治図書、2004年）
- 『子どもの漫画読解力をどう見るか』（明治図書、2004年）
- 『学級の集団的機能を見直す』（明治図書、2002年）
- 『子ども理解のウォッチング技術』明治図書、2002年）
- 『出てこい子ども社会の「仕切り屋」』（明治図書、1999年）
- 『戦後の子ども観を見直す』（明治図書、1995年） 等

# 「成田市学校教育振興基本計画」とは？

この計画は、平成 13 年に策定した「成田市学校教育長期ビジョン」を見直し、成田市の学校教育の振興のための 理念や取り組みを定めた、平成 28 年度～37 年度の 10 年間を期間とする計画です。



## ◆計画の理念

子どもの多様な個性 能力を伸ばし

未来をひらく力を育む

子どもたちが「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育みながら、  
個々の能力を伸ばし、将来に**夢と希望**を持って自分の進むべき道を**切り拓く力**を育みます。

## ◆計画の体系図



## ◆計画における取り組み

基本目標ごとに、さまざまな取り組みを行っていきます。

### 基本目標 1. 社会を生き抜く力を育む

【取り組み】

- **豊かな学びを支える学校・学習環境づくり**  
個性・才能を伸ばす特色ある学校づくり／地域に開かれた学校づくり
- **学習指導の充実（基礎学力の習得・充実）**  
学習習慣の定着／少人数学習による一人一人に応じたきめ細かな教育
- **子どもの健康・体力づくりの推進**  
児童生徒の健康保持・増進／地域スポーツの振興
- **幼児教育の充実**  
幼保小連携／安心して子育てに臨める相談体制の構築

### 基本目標 2. 伝統・文化の理解と国際性を育む

【取り組み】

- **郷土と伝統・文化についての教育の推進**  
地域の歴史、伝統・文化に対する意識高揚  
／郷土の伝統文化の継承・発展
- **国際性を育む教育の推進**  
英語によるコミュニケーション能力の向上  
／国際理解教育の推進

### 基本目標 3. 豊かな心・道徳性・規範意識を育む

【取り組み】

- **心の教育・道徳教育の充実**  
人間関係の形成やマナー・ルールなど社会規範の指導の充実  
／「豊かな人間関係づくり実践プログラム」の実施
- **感性を育む教育の充実**  
図書館機能の活用による調べ学習などの自主的な学習活動の展開  
／交流や体験活動の活発化による青少年の健全育成

## 基本目標 4. よりよい学校教育環境づくりを進める

【取り組み】

- **教職員の資質の向上**

教職員研修の充実／「ICT支援員」によるサポート体制の構築

- **教職員の負担軽減に向けた取組の推進**

教育センターによる教職員への学習指導・生徒指導の支援活動  
／学校問題解決支援チームの協力による問題解決

- **教育環境の整備・改善**

中学校区ごとの小中連携教育の推進／指導者用デジタル教科書の導入

- **学校安全対策の推進**

通学時の児童生徒の安全確保／学校施設の防災機能・老朽化対策の推進

- **学校施設の整備・活用**

計画的な整備・バリアフリー化／学校体育施設の地域施設への活用

## 基本目標 5. 様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する

【取り組み】

- **学びのセーフティネットの構築**

経済的理由で就学が困難な児童・保護者への支援  
／外国人児童生徒への日本語習得や学校生活への適応のための支援

- **特別な支援を要する児童生徒に対する教育の充実**

心身に障がいのある児童生徒に対する適切な就学支援  
／インクルーシブ教育システム等に関する教職員への理解の浸透

- **いじめ・不登校などへの対応の充実**

教育相談体制の充実、外部機関との連携強化  
／いじめ問題対応マニュアルの活用

## 基本目標 6. 社会の変化に対応した教育を推進する

【取り組み】

- **情報教育の充実**

タブレット端末等の情報通信技術を活用した効果的な教育の推進  
／校内LANの整備や校務支援システムの導入

- **キャリア教育の充実**

児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進／職業観や勤労観の育成

- **人権教育の推進**

かけがえのない自分や他者の心や命を尊重する教育の徹底／人権感覚の高揚

- **学校・家庭・地域の連携による取組の推進**

家庭教育力の向上  
／地域人材との協働による放課後・土曜日等の教育活動の推進

## ◆成田市の計画の特徴

- 国際空港を擁する成田ならではの**国際理解・英語教育**の充実
- **成田の伝統・歴史文化**を通じた教育の推進
- 地域との協働による**開かれた学校づくり**の推進
- **小中連携教育**の推進

### コラム

この計画の策定にあたっては、子どもたちや市民のみなさんの意見を参考にしました！

#### (1) アンケート調査の実施

市民の視点から見た学校の状況や教育に関する意識を把握し、計画策定のための参考資料とするため、成田市内の小学校や中学校の児童生徒、保護者、教職員のみなさんにご協力いただきました。

7,972 名の方に配布し、  
回収率 91.0%、  
合計 7,253 名の方々に  
回答をいただきました！



#### (2) ワークショップの開催

ワールドカフェ形式のワークショップを開催し、市内小中学校の児童生徒や保護者、学校関係者、地域の方々にご参加いただき、学校教育に関する様々な意見をいただきました。

平成 27 年 5 月～7 月、  
成田市の 10 の中学校区ご  
とに各 1 回ずつ、全 10 回に  
わたり、総勢 277 名の方々  
にご参加いただきました！



## ◆パブリックコメント実施中です！ 市民のみなさんの計画に対するご意見を広く募集しています。

- 意見募集期間 : 平成 27 年 12 月 17 日 ~ 平成 28 年 1 月 15 日
- 閲覧・意見提出場所 : 市のホームページ「パブリックコメント」から、もしくは、以下の市内各施設で閲覧や意見提出が可能です。

教育総務課（市役所 5 階）／行政資料室（市役所 1 階）／下総・大栄支所地域振興係／各公民館  
／図書館／保健福祉館／赤坂ふれあいセンター／もりんぴあこづ／三里塚コミュニティセンター

## パネルディスカッション

---

テーマ：「成田市の子どもたちの未来のために、  
これからの学校教育のあり方を考える」

### 視点① 地域とともにある学校づくりと小中一貫教育校の今後のあり方について

- ◆下総みどり学園の取り組みをはじめとする小中連携教育、また、学校・家庭・地域の協働による教育活動のあり方などについて話し合います。

### 視点② 成田市の国際理解教育・外国語教育のあり方・今後の方向性について

- ◆成田市で先進的に取り組んできた英語教育、そして、国際空港を擁する成田市の地域特性を生かし、今後の国際理解教育・外国語教育のあり方について話し合います。

## パネリストご紹介（敬称略）

---

コーディネーター（司会）：明石 要一 氏

パネリスト：

### ◆太田 洋 氏

現在、東京家政大学にて人文学部英語コミュニケーション学科教授を務める。小学校・中学校の英語教育の効果的な連携のための研究に従事。著書には、『英語を教える 50 のポイント』（光村図書出版）、『日々の英語授業にひと工夫』（大修館書店）、『Columbus English Course21』（光村図書出版）など。また、「成田市学校教育振興基本計画」策定委員会の委員。

### ◆高山 勇 氏

現在、成田市初の小中一貫教育校「下総みどり学園」の校長先生として、小中一貫教育の推進に取り組む。今回のパネルディスカッションでは、下総みどり学園の校内の様子や取り組みなどをご紹介いただく。

### ◆上田 明日見 氏

航空会社の国際線客室乗務員として勤務されたのち、成田市国際交流協会職員として勤務。姉妹都市サンブルーノ市との中学生相互派遣事業など国際交流事業に参加。今回は、国際交流活動や海外生活の経験者として参加。

### ◆檜山 愛 氏

青年海外協力隊（JICA）の一員として、平成 25 年 10 月から今年の 9 月までモザンビーク共和国での活動に参加し、現地の公立小学校にて音楽などの情操教育の普及に取り組む。今回は、海外でのボランティア活動などの経験者として参加。

